

2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月7日
東京

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所
コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6262-5160
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	885	1.6	146	△33.8	150	△32.6	101	△43.6
2024年12月期第1四半期	871	8.7	221	2.0	223	2.8	180	24.0

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 76百万円(△63.2%) 2024年12月期第1四半期 206百万円(39.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	15.35	15.32
2024年12月期第1四半期	27.22	27.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	4,512	3,066	65.8
2024年12月期	4,855	3,153	62.9

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 2,968百万円 2024年12月期 3,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

当社のビジネスの堅調な推移により現時点で過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、データコントロール事業及びグローバルIoT・生成AIビジネスの事業拡大や事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	6,751,000株	2024年12月期	6,751,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	155,095株	2024年12月期	105,895株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	6,629,105株	2024年12月期 1 Q	6,624,654株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、デジタルテクノロジーの活用を進めるために、リアルタイムかつ大容量のデータ送受信を可能とするBeyond 5Gの実現が求められています。また、AIを活用した多様なデジタルサービスが社会に浸透し、生成AI、ロボティクス、自動運転、メタバース等は様々な社会的・経済的課題解決に貢献することが期待されています（出典：総務省「令和6年版 情報通信白書」）。

このような環境のなかで、当社グループは、独自に保有する基盤コア技術をベースに、システムマネージ、クラウドマネージ、生成AI、IoT及びIIoT分野に加え、あらゆる物質や細胞にまでリーチするIoE（Everything）、そしてテクノロジーと人間の実質統合により、人間の五感を拡張させるIoA（Abilities）分野における研究開発・ビジネスデザイン及び各種取り組みを、国内外において着実に進めております。

当社のクラウド・IoT分野全体を包括するデータコントロール事業の売上は、安定した完全ストック型ビジネス（サブスクリプションモデル及びリカーリングモデル）の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されており、当社の現時点での主力事業であるシステムマネジメントは、世界的なインフレや中国経済の先行き不安、大幅な為替変動、米国新政権の動向などの影響を受けることなく、当第1四半期連結累計期間においても、引き続き月額課金案件の受注獲得を推し進め、上場以来過去最高の月額課金売上のプラス成長に着地する潮流が続いております。なお、中長期的な企業価値の向上と持続的な成長を実現するための人的資本経営の強化にも注力し、先行投資は過去最高額となりました。

世界のIoT市場は、2025年の1兆3,500億ドルから2030年には2兆7,200億ドルへ拡大すると予測（出典：Mordor Intelligence「IOT MARKET SIZE & SHARE ANALYSIS - GROWTH TRENDS & FORECASTS (2025 - 2030)」）されており、当社データコントロールサービスのグローバルにおける需要も高まる中、当社の合併会社であるSBI JIG-SAWモダナイゼーションズ株式会社による金融業界全般へのサービス展開に加え、ユーザの運用・サポート部門切り出しモデル（カーブアウト戦略）に進出するなどの事業拡大を推し進めております。また、画像生成AIの強化に貢献するコンピュータビジョン技術の特許取得に加え、クラウド市場や企業ニーズの拡大に対応すべく、Google Cloud Partner Advantageスペシャライゼーション認定を取得するなどした各種クラウドを包括管理する「JIG-SAW PRIME」では、取引総額が209,174千円（前年同期比22.3%増）拡大しました。さらに、今後の高い事業成長を実現すべく、将来に向けた先行投資額は過去最高を更新し、前年同期と比較して約44,000千円増加となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高885,152千円（前年同期比1.6%増）、営業利益146,393千円（前年同期比33.8%減）、経常利益150,698千円（前年同期比32.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益101,743千円（前年同期比43.6%減）となりました。なお、当第1四半期連結累計期間において、本社移転及びオフィス統合に関する第2フェーズの工事が完了し、新東京本社の新エリア開設に伴う本社移転費用が発生しておりますが、通期の連結累計期間におきましては、各段階利益の前年増減率は改善見込みです。

なお、当社グループはデータコントロール事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、3,133,952千円（前連結会計年度末比258,696千円減）となりました。これは主に、現金及び預金が減少（前連結会計年度末比566,838千円減）した一方で、その他に含まれる未収入金が増加（前連結会計年度末比157,548千円増）、その他に含まれる前払費用が増加（前連結会計年度末比108,487千円増）したことによるものであります。

また、固定資産は、1,378,538千円（前連結会計年度末比84,229千円減）となりました。これは主に、敷金及び保証金が減少（前連結会計年度末比145,124千円減）した一方で、有形固定資産が増加（前連結会計年度末比106,043千円増）したことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、4,512,491千円となり、前連結会計年度末に比べ342,926千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、1,093,624千円（前連結会計年度末比239,057千円減）となりました。これは主に、未払法人税等が減少（前連結会計年度末比119,631千円減）、未払金が減少（前連結会計年度末比81,143千円減）したことによるものであります。

また、固定負債は、351,999千円（前連結会計年度末比17,178千円減）となりました。これは主に、長期借入金が減少（前連結会計年度末比24,999千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は、1,445,624千円となり、前連結会計年度末に比べ256,235千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、3,066,867千円（前連結会計年度末比86,690千円減）となりました。これは主に、利益剰余金が増加（前連結会計年度末比101,743千円増）した一方で、自己株式が増加（前連結会計年度末比165,477千円増）、為替換算調整勘定が減少（前連結会計年度末比19,539千円減）したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社のビジネスの堅調な推移により現時点で過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、データコントロール事業及びグローバルIoT・生成AIビジネスの事業拡大や事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,992,757	1,425,918
売掛金	1,248,616	1,217,825
その他	158,905	497,099
貸倒引当金	△7,629	△6,890
流動資産合計	3,392,649	3,133,952
固定資産		
有形固定資産	367,472	473,515
無形固定資産	42,658	43,814
投資その他の資産		
投資有価証券	211,773	205,074
敷金及び保証金	611,813	466,688
繰延税金資産	193,040	153,074
その他	36,550	36,910
貸倒引当金	△540	△540
投資その他の資産合計	1,052,637	861,208
固定資産合計	1,462,767	1,378,538
資産合計	4,855,417	4,512,491
負債の部		
流動負債		
買掛金	738,584	717,435
1年内返済予定の長期借入金	99,996	99,996
未払金	274,124	192,980
未払法人税等	133,544	13,912
その他	86,431	69,299
流動負債合計	1,332,681	1,093,624
固定負債		
長期借入金	350,006	325,007
その他	19,172	26,992
固定負債合計	369,178	351,999
負債合計	1,701,859	1,445,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,107	351,107
資本剰余金	310,580	314,532
利益剰余金	2,751,625	2,853,369
自己株式	△483,322	△648,799
株主資本合計	2,929,991	2,870,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,992	26,830
為替換算調整勘定	91,217	71,677
その他の包括利益累計額合計	124,210	98,508
新株予約権	99,355	98,148
純資産合計	3,153,557	3,066,867
負債純資産合計	4,855,417	4,512,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	871,407	885,152
売上原価	249,190	245,279
売上総利益	622,217	639,872
販売費及び一般管理費	401,189	493,479
営業利益	221,027	146,393
営業外収益		
受取利息	38	628
受取配当金	1,733	1,479
投資有価証券売却益	—	3,172
その他	808	1,299
営業外収益合計	2,581	6,579
営業外費用		
支払利息	17	1,017
為替差損	—	484
自己株式取得費用	—	772
その他	111	0
営業外費用合計	128	2,274
経常利益	223,480	150,698
税金等調整前四半期純利益	223,480	150,698
法人税、住民税及び事業税	62,552	6,434
法人税等調整額	△19,383	42,519
法人税等合計	43,168	48,954
四半期純利益	180,311	101,743
親会社株主に帰属する四半期純利益	180,311	101,743

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	180,311	101,743
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,557	△6,161
為替換算調整勘定	19,621	△19,539
その他の包括利益合計	26,179	△25,701
四半期包括利益	206,491	76,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	206,491	76,041
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行っております。この結果、自己株式が169,101千円増加しました。

これらの結果等により、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が648,799千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	12,565千円	20,167千円